Press release

2026 年 11 月 11 日
C/CGR-JP-2026-17

ボッシュ、横浜市の小学生向けに体験型 STEAM ワークショップを実施

モビリティ開発や最新技術への興味・関心を喚起し、次世代人材の育成に寄与

- ボッシュの本社にて小学 3〜6 年生を対象に、「3D モデルでつくる！サステナブルな未来のクルマをつくろう！」と題したワークショップを実施
- エンジニアを含めたボッシュの従業員と一緒に環境課題の解決に挑み、3D モデルで未来のモビリティ開発に取り組む体験型の教育プログラム
- 横浜市都筑区と締結した「地域活性化に関する包括連携協定」の一環として、次世代育成を目指した取り組み

横浜 – グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーであるボッシュは、去る2026年11月3日（火・祝）、ボッシュの本社1階にて、横浜市在住・在学の小学3〜6年生を対象とした体験型STEAMワークショップ「3Dモデルでつくる！サステナブルな未来のクルマをつくろう！」を開催しました。当日は、午前の部・午後の部で合わせて42名の小学生が参加し、モビリティ開発の楽しさを学びました。

ワークショップでは、以下4つのステップを踏むことで、プログラミングや3Dモデル制作の経験がない小学生でも気軽にゲーム感覚で楽しむことのできる方法で実施されました。参加した子どもたちは、ボッシュで働くエンジニアなどの従業員のサポートを得ながら、環境問題を解決するオリジナルのモビリティを各々でデザインし、会場内でAR投影しました。最後のプレゼンテーションでは、環境課題に対して、どのようなモビリティ技術を用いて解決するのかを、子ども達が発表しました。

体験型STEAMワークショップのステップ

1. **カードで発想（考える）**
   「環境問題」×「乗りもの」×「サステナブルな力」のテーマからコンセプトが描かれたカードを選択。カードゲームのようにそれらを組み合わせて、各自で開発するモビリティのコンセプトを決定します。
2. **3Dモデルで形に（つくる）**

Bosch Corporation
1-9-32 Nakagawa Chuo,
Tsuzuki-ku, Yokohama
224-8601 JAPAN

E-mail Aiko.Furuichi@jp.bosch.com
Phone +81 45 605 3010

Corporate Communications,
General Manager: Aiko Furuichi
www.bosch.co.jp

各自が選んだカードを元に、タブレット端末でソーラーパネルやポンプなどのパーツを3D空間で取り付け、自分だけのモビリティをデザインします。

3. **ARで会場に投影（体感する）**
   自分でデザインした3Dモデルを、AR（拡張現実）技術を活用し、会場内に出現させます。自らデザインしたモビリティ技術が、現実世界に出現する楽しさを体験します。
4. **発表＆フィードバック（伝える）**
   最後に子どもたちがそれぞれ、どんな乗り物を使って、どのパーツを取り付け、どんな環境課題を解決するのかを発表します。

当日、子どもたちは実際にモビリティ業界で働くボッシュの従業員とコミュニケーションをとりながら、どのような技術が必要なのか、活用できるパーツは何かなどを相談しました。会場では、子どもたちが課題解決に挑み、エンジニアマインドを持って未来のモビリティ開発に取り組む様子が見受けられました。

子どもたちからは、「回収したゴミを燃焼して発電し、そのエネルギーを利用して走るトラック（小3男子）」や、「避雷針で雷のエネルギーを取り込み、その電力で走るバイク（小4男子）」、「センサーで魚とゴミを識別して海中のゴミを回収し、さらにそのゴミを燃料として活用する潜水艦（小5女子）」など、子どもならではの自由なアイデアが数多く生まれました。参加した子どもたちからは、「環境問題とモビリティを結びつけるのが難しかった」という声がある一方、「自分でモビリティをデザインするのが面白かった」といった感想も聞かれました。子どもたちにとって、試行錯誤しながら自分なりの答えを考え、アイデアを形にする楽しさを体験する機会となりました。

ボッシュは、自動車システムの開発だけにとどまらず、人や物の移動、それらを支えるサービスや社会基盤を含め、安全かつサステナブルなモビリティ社会の実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。ボッシュはこのようなSTEAM教育を通じて、子どもたちがモビリティ開発や最新技術に興味を持ち、さらに将来の社会課題の解決に取り組むための学びの機会を提供しています。

当日の開催概要は、下記を参照ください。

イベント名	3Dモデルでつくる！サステナブルな未来のクルマをつくろう！
開催日時	2026年11月3日（火・祝） 午前の部：10:30～12:00 午後の部：13:30～15:00
会場	ボッシュ株式会社 本社1階
参加者	横浜市内在住または在学の小学3～6年生 午前の部・午後の部、合計42名
主催	ボッシュ株式会社
後援	横浜市都筑区
企画・運営	株式会社Pendemy

報道関係対応窓口：
浄土寺
電話：045-605-3010

日本のボッシュ・グループ概要
日本のボッシュはボッシュ㈱、ボッシュ・レックスロス㈱、ボッシュホームコンフォートジャパン㈱、その他の関係会社から構成されます。ボッシュ㈱は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロス㈱は油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ボッシュホームコンフォートジャパン㈱は、日立ブランドのルームエアコン「白くまくん」を開発・製造しています。2025 年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約 4,600 億円で、従業員数は約 7,100 人です。

世界のボッシュ・グループ概要
ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2025 年の従業員数は約 41 万 3,000 人（2025 年 12 月 31 日現在）、売上高は 910 億ユーロ（約 15.4 兆円）を計上しています。ボッシュはモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 つの事業領域を展開しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、デジタライゼーション、電動化、AI の取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュは、ハードウェア、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化と AI に関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーな製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 500 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、約 8 万 2,000 人の従業員が研究開発に携わっています。*

**2025 年の為替平均レート、1 ユーロ = 168.9731 円で計算*

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。
www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト （英語）
www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス （英語）
https://twitter.com/BoschPresse ボッシュ・メディア 公式 X（ドイツ語）
www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト （日本語）
https://twitter.com/Boschjapan ボッシュ・ジャパン 公式 X （日本語）
https://www.facebook.com/bosch.co.jp ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック （日本語）
https://www.youtube.com/boschjp ボッシュ・ジャパン 公式YouTube （日本語）
https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/ ボッシュ・ジャパン 公式LinkedIn（日本語）